

2014年11月18日

一般財団法人 自然環境研究センター 第2研究部
吉村 妙子 様

日本哺乳類学会
理事長 梶 光一

日頃はお世話様です。さてご依頼のありました意見聴取について、下記のとおり
に回答します。

1) 外来種リストに対する意見

○ハクビシンの外来種リストへの掲載に関する留意点

ハクビシンを外来種リストに掲載することに反対するわけではないのですが、
リスト掲載に向けての手続きについての意見です。

ハクビシンはこれまで特定外来生物はおろか、要注意外来生物にも指定され
ていませんでした。た。その理由としては、導入時期が不明であるためという
理由もありますが、ハクビシン在来種説が大きな障壁となっており、ハクビシ
ンを外来種とするか、在来種とするかで結論が出ていないためという考え方が
一般的に浸透していたと思います。

そのような種を外来種リストに掲載するためには、これまでなぜ外来生物法
では扱ってこなかったのか、また今回ハクビシンを外来種とする根拠を整理し
て、国民に公表できるように準備しておく必要があると考えます。

従来は、国内で化石が存在しないこと、分布の不連続性をもって外来種と推
察されてきた経緯がありますが、現在では増田隆一（2011）などによって遺伝
子分析からも由来する地域などが明らかとなっており、これらを総合的に
判断して外来種とみなすということを委員会並びに環境省で確認しておくべき
と考えます。

○アライグマの「備考」

細かなことですが、アライグマについては知床国立公園の入り口近くまでは
記録がありますが、厳密には国立公園内での確実な情報（捕獲・写真）はまだ

得られてはおりません。記述の問題ですが、ご検討お願い申し上げます。

2) 行動計画に関する意見

外来種対策の予算不足が自治体の対策実施に壁となっており、案文にもそのような記述も多く見られますが、それに対する対応が記されていないことが気になります。予算のことで難しいでしょうが、せめてコラムで対策実施に利用可能な各省庁の助成・補助・基金・制度などを整理して提示して活用を図ることも肝要ではないかと考えます。

担当：池田 透 委員（日本哺乳類学会 外来動物対策作業部会部会長）

山田文雄（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会委員長）

--

佐藤喜和

日本哺乳類学会庶務担当常任理事

平成26年10月28日

事務連絡

日本哺乳類学会 御中

環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室 室長 関根 達郎

外来種被害防止行動計画（仮称）・侵略的外来種リスト（仮称）に関する
検討状況について（ご報告）

外来生物対策行政の推進につきまして、平素より格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、外来種被害防止行動計画（仮称）（以下「行動計画」という）及び侵略的外来種リスト（仮称）（以下「リスト」という）については、昨年9月に貴学会にも意見聴取させていただきましたところ、ご意見を賜り、有り難うございました。

いただいたご意見を踏まえ、可能な限り対応させていただき、これまで検討を進めて参りましたが、11月下旬頃からパブリックコメントを実施したいと考えております（リストについては、その前に会議を開催予定です）。

このため、これに先立ち、下記の現在検討中の案をお送りさせていただきます。上記のとおり、今後パブリックコメントの実施も予定しておりますが、特段のご意見がございました場合は、可能な限り早めに行動計画及びリストの検討業務の請負先である自然環境研究センター 吉村宛までメールまたはFAXにてご連絡いただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 外来種被害防止行動計画（仮称）

資料1 外来種被害防止行動計画案

資料2 外来種被害防止行動計画関係図表

2. 侵略的外来種リスト（仮称）関連

※リストの名称については「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」となる予定です。

① リストの概要（詳細は添付資料）

→ リストの目的、性格、選定方法、カテゴリ区分、項目の解説等

② リスト案

→掲載種の一覧

②リスト掲載種の詳細情報案

→掲載種の評価、根拠情報等詳細

<ご連絡先>

一般財団法人自然環境研究センター

吉村妙子